

施策評価管理シート

施策体系	政 策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち	2019(令和元)年6月作成	
	基本施策	1	生きる力を育む教育の推進	担当部局(室)名	部局長名
	施 策	2	青少年健全育成	教育委員会事務局	高嶋 正広

1. 計画策定当初(H28)の状況と課題



- 青少年の非行件数は、ここ数年減少傾向にありますが、超少子化や一人親世帯の増加に加え、コミュニケーション手段が携帯電話やパソコンを介したものに变化してきていることから、コミュニケーション力の低下が指摘されています。
- 青少年が、社会性を身に付ける体験活動や、子どもの居場所づくりのため、学校・家庭・地域等が連携して取り組んでいく必要があります。

2. 施策の基本方針



- 次世代を担う青少年は、かけがえの無い存在であり、心身ともに健やかに成長することは、市民一人ひとりの願いです。青少年を取り巻く環境が目まぐるしく変化するなかで、心身ともに健全にたくましく成長していけるよう、学校・家庭・地域等が連携して青少年の健全育成に取り組めます。

○施策指標(目標)及び達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		現状値(H26)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	達成率
青少年の健全な育成に向けた取組が行われていると感じる市民の割合(%)	目標	-	-	-	50.0	
	成果	42.7	45.5	41.5	44.4	23.3%
ぐ犯・不良行為少年数(人)	目標	-	-	-	210	
	成果	245	129	224	163	100.0%
放課後子ども教室設置数(箇所)	目標	-	-	-	9	
	成果	6	6	6	6	0.0%

3. 課題解決への取組内容及び成果(平成28年度～30年度)



- ・市内小学校区において、放課後や週末等に小学校や市民センター等地域の施設を活用して、地域住民の参画のもと、子どもたちとともに勉強やスポーツ、文化活動、交流活動等の取り組みを実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かに育まれる環境づくりを推進する放課後子ども教室を実施しました(6地域8小学校区で実施)。
- ・子どもの体験活動などへのサポートや支援を行う青少年ボランティアであるジュニアリーダーを養成するジュニアリーダー養成講座を開催しました(年2回開催 平成28年度14名、平成29年度17名、平成30年度22名 計53名が修了)。また養成講座を修了した多くのジュニアリーダーが加入し、活動する名張Kidsサポータークラブが継続的に活動できるように活動機会の提供などの支援を行いました(修了者53名中50名がKidsサポータークラブへ加入)。
- ・地域ぐるみで子どもを守る取組として、子どもを守る家事業の普及に努めました(協力者件数 平成28年度1,857件、平成29年度1,906件、平成30年度2,015件)。また、「名張少年サポートふれあい隊」による夜間パトロール等を引き続き行い、地域ぐるみで非行や犯罪から子どもたちを守る体制の充実・強化に努めました(年間延べ参加者数 平成28年度1,064名、平成29年度929名、平成30年度921名)。

4. 成果を踏まえた課題や現状



- ・放課後子ども教室については、地域づくり組織への委託を行い実施しているため、地域づくり組織へ事業説明を行い理解を得ながら未実施地域での新規教室立ち上げを目指していますが、地域でのニーズやコーディネーター、ボランティアの選定といった課題があり全地域での教室立ち上げには至っていません。また、放課後児童クラブとの一体的な取組についても検討していく必要があります。
- ・青少年ボランティアや名張Kidsサポータークラブが継続的に活動できるよう、ジュニアリーダーとしての技術の向上や、活動機会の提供等を引き続き支援する必要があります。
- ・青少年の非行件数は、ここ数年減少傾向にありますが、不審者情報の増加や全国的に青少年が被害者となる事件が発生しているなか、引き続き警察や学校、地域など関係機関・団体と連携を密にし、子どもたちを見守る体制をいっそう強化していく必要があります。

5. 課題解決への取組内容(令和元年度)



- ・放課後子ども教室については、未実施地域での事業着手に向けて積極的に支援するとともに、子どもたちが放課後等を安全・安心に過ごし、より多様な体験活動を行うことができるよう推進していきます。また、現在、立ち上げに向けて協議を行っている地域については、令和元年度中の立ち上げに向けて引き続き支援します。
- ・ジュニアリーダー養成講座の修了者が継続的に社会参加できるように、名張Kidsサポータークラブへの活動機会の提供や、技術向上を目的とした研修会を開催するなどの支援を行います。
- ・地域ぐるみで子どもを守る取組目として、子どもを守る家事業の普及による不審者対策や、「名張少年サポートふれあい隊」による夜間パトロール等を引き続き行い、地域ぐるみで非行や犯罪から子どもを守る体制の充実・強化に努めます。また、ふれあい隊・市青少年補導センター・警察・学校等の関係機関・団体での情報共有など、さらなる連携を深めながら子どもを守る体制を強化します。

6. 行政評価委員会による総合評価



放課後子ども教室について、放課後児童クラブとの連携及び一体的な取組を検討するなどし、未実施地域での立ち上げに向け、取組を進めること。